

社会科 山場を中心とした授業指導案

指導者；杉本 彰子

○日 時 ； 平成29年2月7日（火）4限（11：45～12：35）

○場所・生徒数；選択3教室・3年B組22名（男13人、女9人）

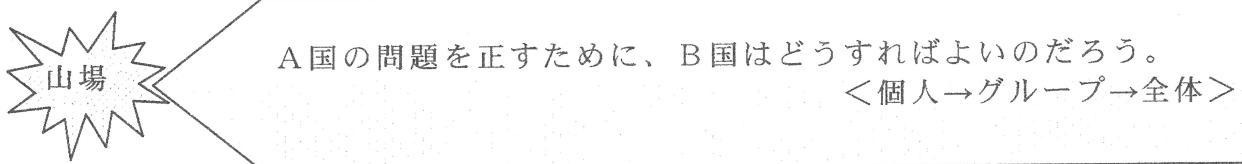
○単元名 ； 国際社会と主権国家

○本時の目標 ； 国家主権、内政不干渉をふまえつつ、人権問題を正していくにはどうすればよいかを考える。

導入	・国家が成り立つために必要なことは何だろう。<個人→ペア→全体>
----	----------------------------------

めあて；A国の人権問題を正すために、B国はどうすればよいのだろう。

展開Ⅰ	・A国、B国のそれぞれの立場を確認しよう。<個人→全体>
-----	------------------------------



展開Ⅱ	・国際社会の原則を確認しよう。
-----	-----------------

ふり返り	・A国の人権問題を正すために、B国はどうすればよいのだろう。<個人>
------	------------------------------------

私たちと国際社会①：A国の問題を正すために、どうすればよいのだろう。

1. 国家が成り立つために必要なことは何だろう。

【 】・【 】・【 】

2. A国の問題を正すために、B国はどうすればよいのだろう。

自分の意見	班の意見

3. 国際社会の原則

- ① 【 】 …すべての国の主権を平等に尊重し合うこと
② 【 】 …他国による国内政治への干渉をしないこと

4. A国の問題を正すために、B国はどうすればよいのだろう。

（この欄に回答を記入してください）